

平成 27 年 9 月 17 日

各医療機関の薬剤師の皆様へ

厚生労働科学研究費補助事業

研究代表者 村木 優一

## 全国の医療機関を対象とした抗菌薬使用動向調査への協力依頼（お願い）

今回、厚生労働科学研究費補助事業として、「全国を対象とした抗菌薬使用動向調査システムの構築および感染防止対策加算の評価に関する研究」を実施する上で抗菌薬の使用動向と感染対策に関わる薬剤師を取り巻く現状を収集できるシステム（[Japan Antimicrobial Consumption Surveillance: JACS, https://www.jacs.asia](https://www.jacs.asia)）を構築いたしました。

本システムは、感染対策に関わる薬剤師が中心となって各施設の抗菌薬使用量等を登録することにより、自施設における抗菌薬使用動向を他施設や諸外国と比較できるだけでなく、全国や地域における感染対策に活用可能な貴重なデータとなります。また、抗菌薬の使用動向を継続的にモニタリングすることを可能とするため、本システムの利用は無料とし、協力者の負担軽減を図っています。

現在、抗菌薬開発が停滞する中、薬剤耐性菌の増加が世界的な問題となっています。耐性菌による感染症は医療経済に及ぼす影響も大きいことから Antimicrobial stewardship（抗菌薬適正使用支援）が注目され、専門領域に関する知識やネットワークを有する専門・認定薬剤師の役割への期待が高まっています。抗菌薬使用状況の把握は、感染領域に通じた薬剤師の介入エビデンスを社会に発信するうえでも絶好の機会です。つきましては、全国の医療機関で感染対策に関わる薬剤師が一丸となって本調査に協力し、抗菌薬使用動向調査の継続的な実施体制構築に加わっていただけることを願っております。

なお、本システムで得られた結果には施設名は含めません。また、収集データを利用した研究や活動案をお持ちの場合はご連絡ください。今後、感染対策に関わる薬剤師にとってさらに活動しやすい環境を整備するためにも、より多くのご参加を重ねてお願い申し上げます。

調査 1：全国の医療機関を対象とした 2014 年における抗菌薬使用量（AUD）および施設の実態調査（使用日数：DOT については任意）

入力期限：平成 27 年 11 月 30 日（まずは、施設登録だけでもお願いします！）

入力方法：本システムへ施設登録後、2014 年の抗菌薬使用量と自施設の現状についてご回答下さい。詳細は「本システムについて」をお読みいただき、不明な点はお問い合わせフォームからご連絡下さい。

調査 2：全国の医療機関を対象とした 2010 年から 2014 年における抗菌薬使用動向および施設状況の変化（使用日数：DOT については任意）

入力期限：平成 28 年 1 月末日

入力方法：調査 1 の対象範囲を 2010 年まで遡って入力下さい。

<照会先>

三重大学医学部附属病院 薬剤部 村木優一

TEL：059-231-7402 e-mail：y-muraki@clin.medic.mie-u.ac.jp